

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 5月 26日

岩手県知事 達増拓也 殿

提出者

住 所 岩手県北上市相去町笹長根35番地

氏 名 三菱製紙株式会社 北上工場

工場長 石黒 秀明

電話番号 0197-67-3211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三菱製紙株式会社 北上工場
事業場の所在地	岩手県北上市相去町笹長根35番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	パルプ・紙・紙加工品製造業
② 事業の規模	製品出荷額 109億円
③ 従業員数	210名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	燃料(回収パルプ、紙類) → 自己再生利用(熱回収) 汚泥(炭カル)、金属くず、廃プラ、燃え殻、がれき類、廃油、木くず、 ガラスくず・コンクリートくずおよび陶磁器くず、廃酸 → 直接委託処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括者	工場長
環境責任者	安全環境管理室長
廃棄物主担当部署	事務部業務G
廃棄物担当者	事務部業務G担当者 安全環境管理室担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・汚泥：回収パルプの一部を有価物化。 ・汚泥：工程内の原料流出削減対策。 ・紙類：コピー裏紙の活用。 ・金属くず：老朽化設備廃棄時、整備後予備品化を実施。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥は回収パルプの一部を有価物化の継続。 ・汚泥：工程内の原料流出及び手替頻度抑制により更なる回収パルプ発生量の低減。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・鉄くず、廃プラ：分別による有価物化を実施
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラ：分別による更なる有価物化の推進

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・炭カル汚泥回収設備で回収した炭カル汚泥の再生利用を実施。		
③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・炭カル汚泥回収設備で回収した炭カル汚泥の再生利用を継続。 ・炭カル汚泥回収設備の更なる安定操業及び連続操業で炭カル排出総量を抑制する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・紙類を熱回収設備の燃料に使用。 ・回収パルプの脱水効率向上及び含水率低減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・紙類の熱回収を継続する。 ・回収パルプの含水率低減を継続する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 燃え殻は埋立処理から再資源化等処理による新規業者へ全面切替。 ・ 廃プラ、木くずは再資源化等が可能な業者へ委託。可能な限り優良認定業者を選択。 ・ 廃プラは再資源化等業者へ継続。		

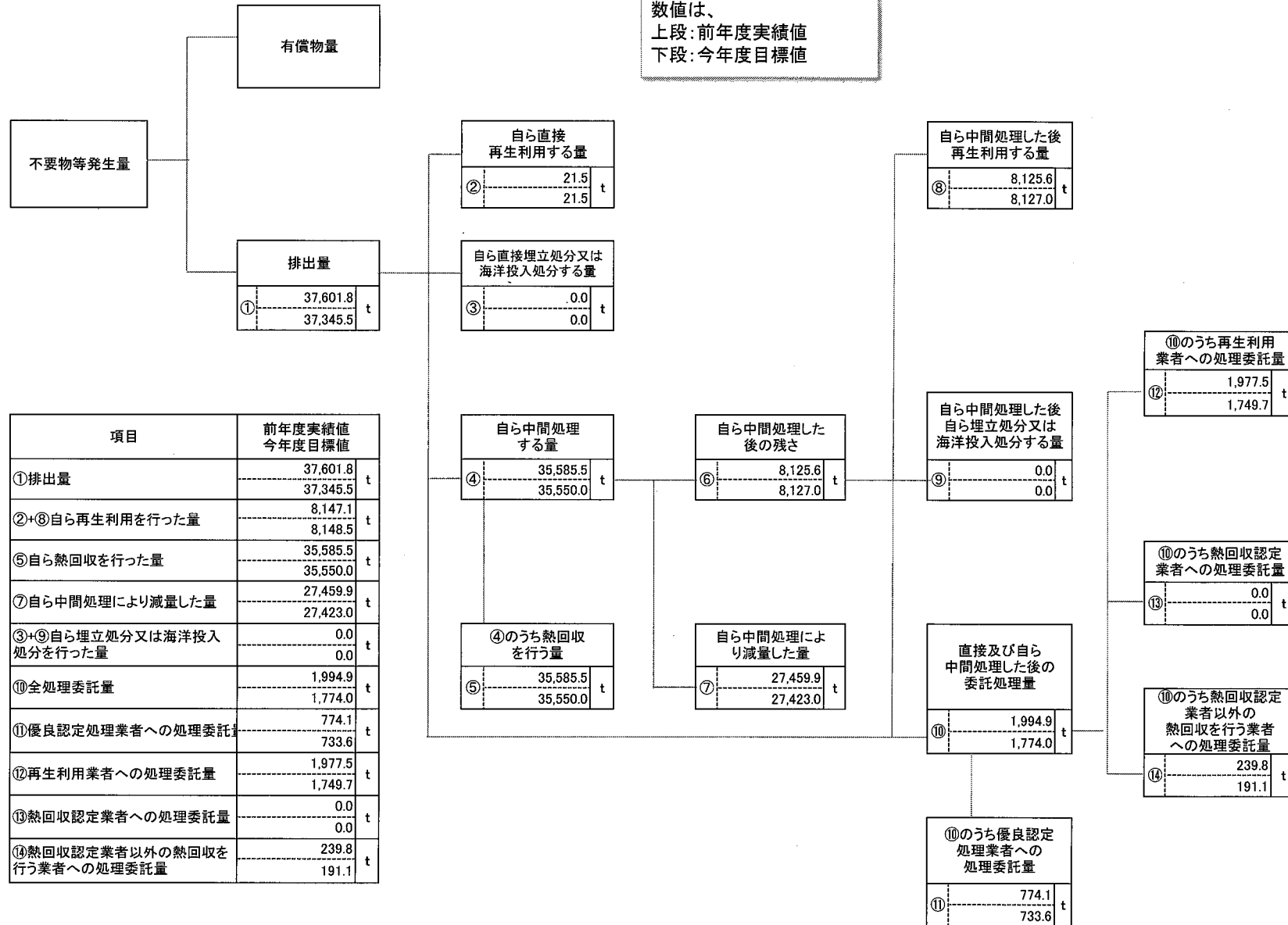
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・燃え殻は埋立処理から再資源化等処理へ全量切替を継続。 ・廃プラ、木くずは再資源化等が可能な業者へ委託。可能な限り優良認定業者を選択。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

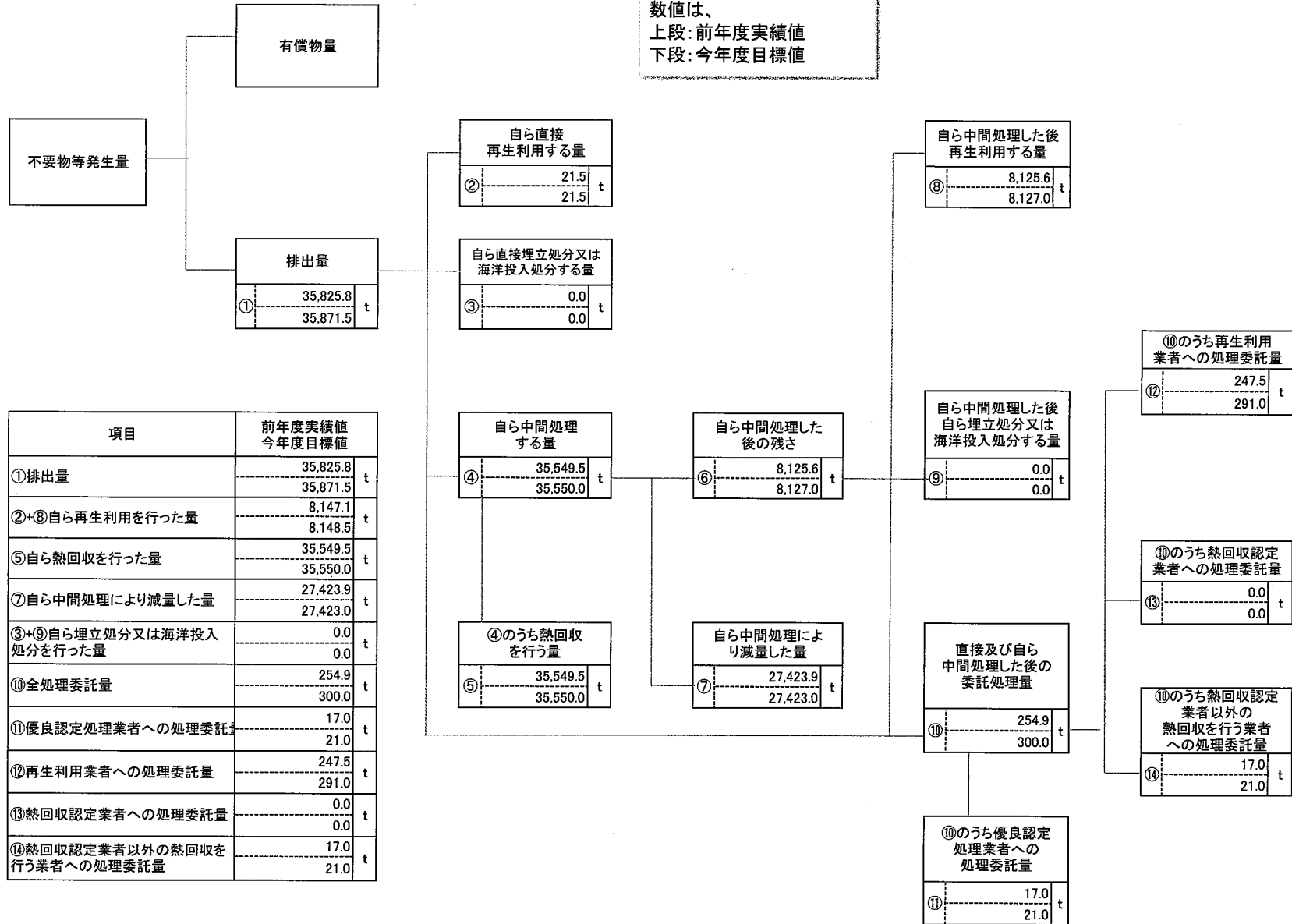
(産業廃棄物の種類: 全体)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



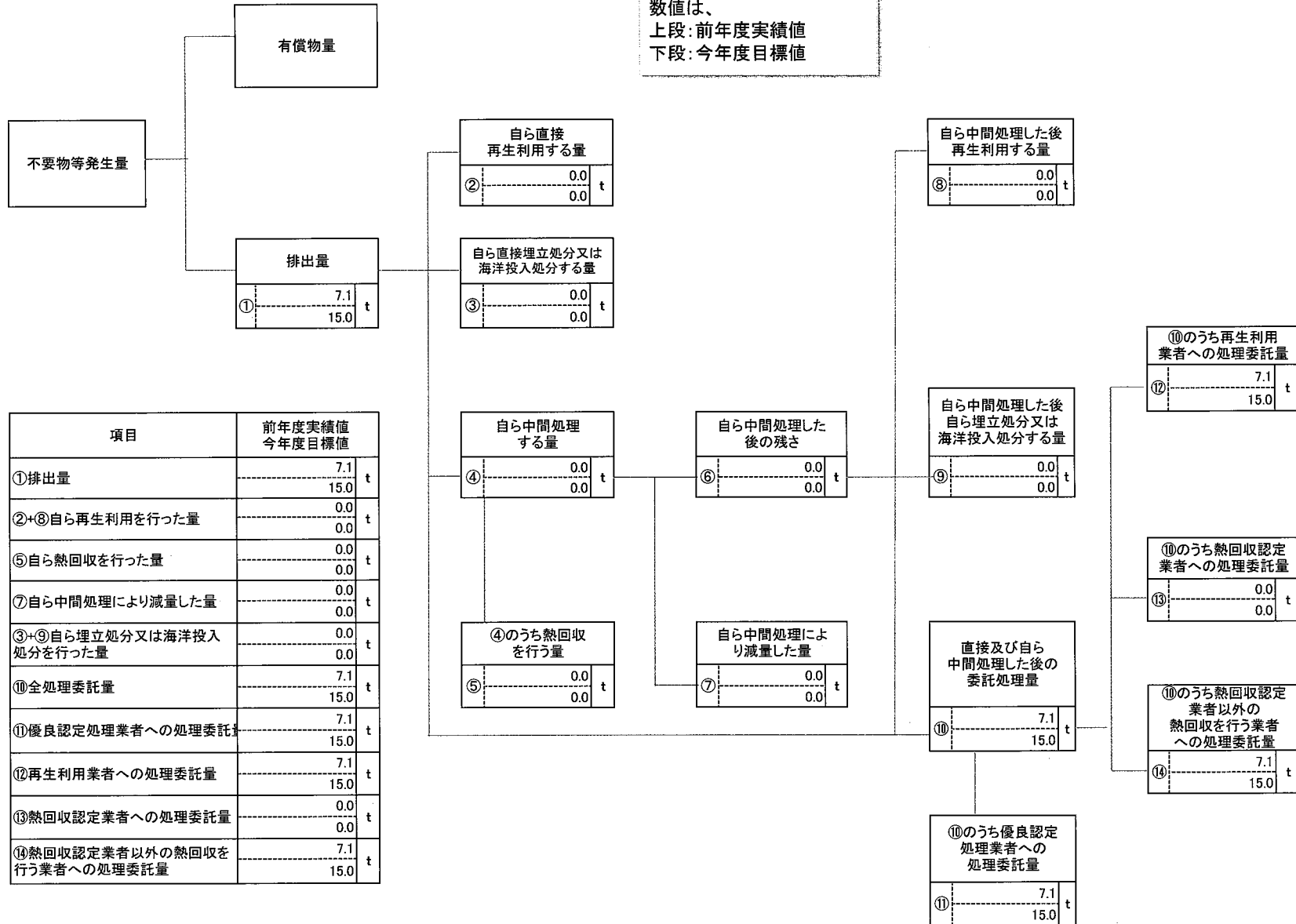
(産業廃棄物の種類: 汚泥)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



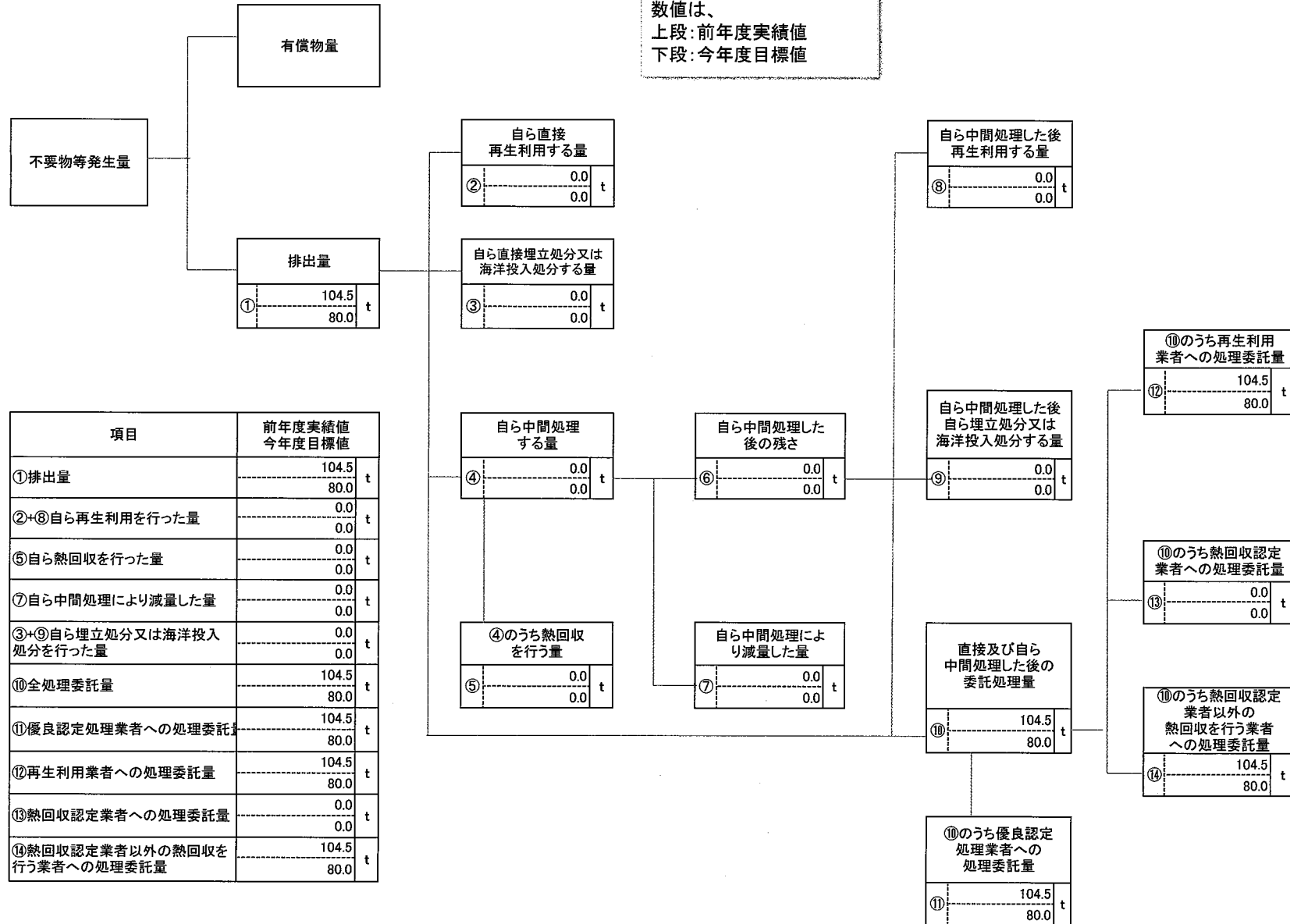
(産業廃棄物の種類: 金属くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



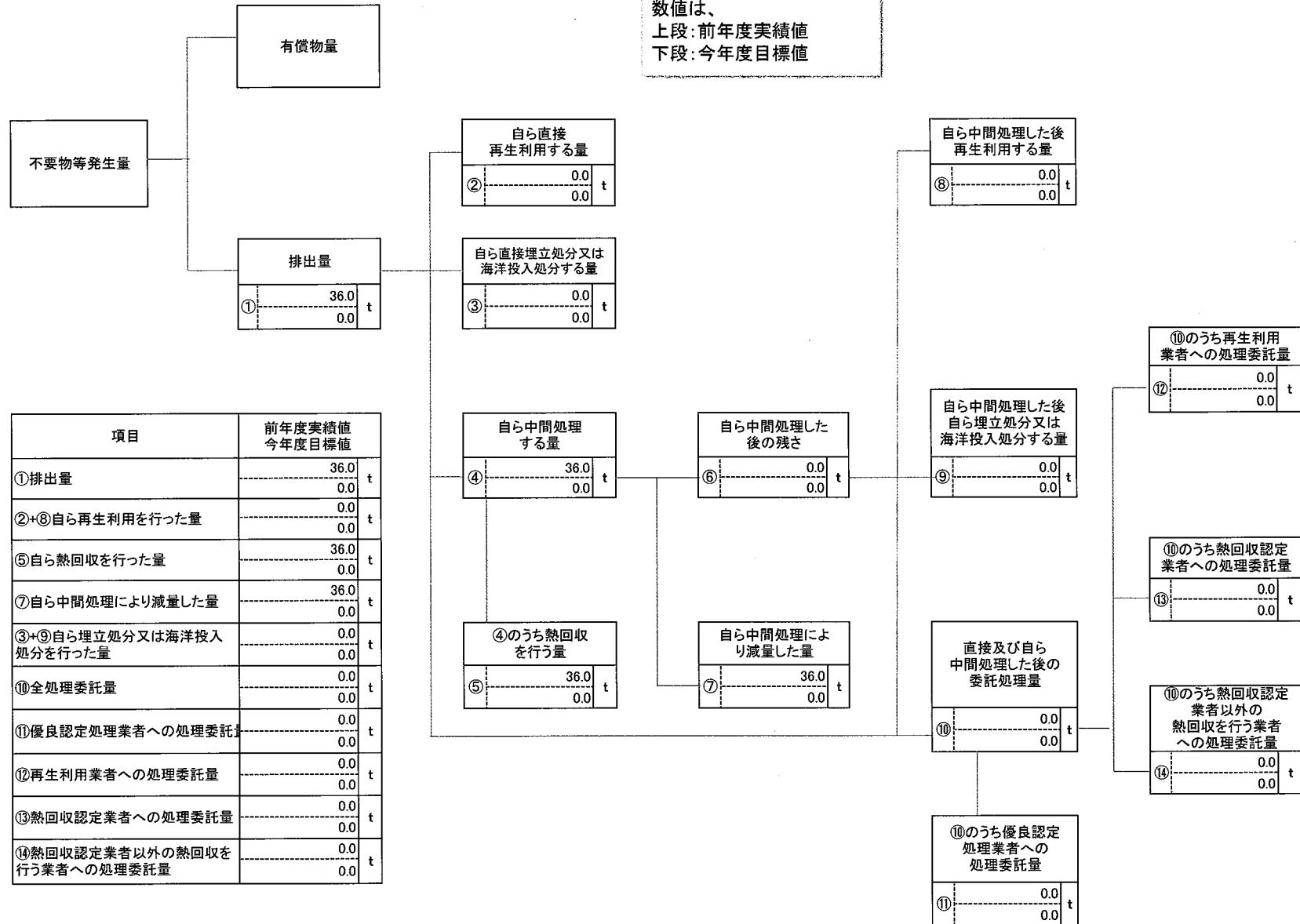
(産業廃棄物の種類: 廃プラ)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



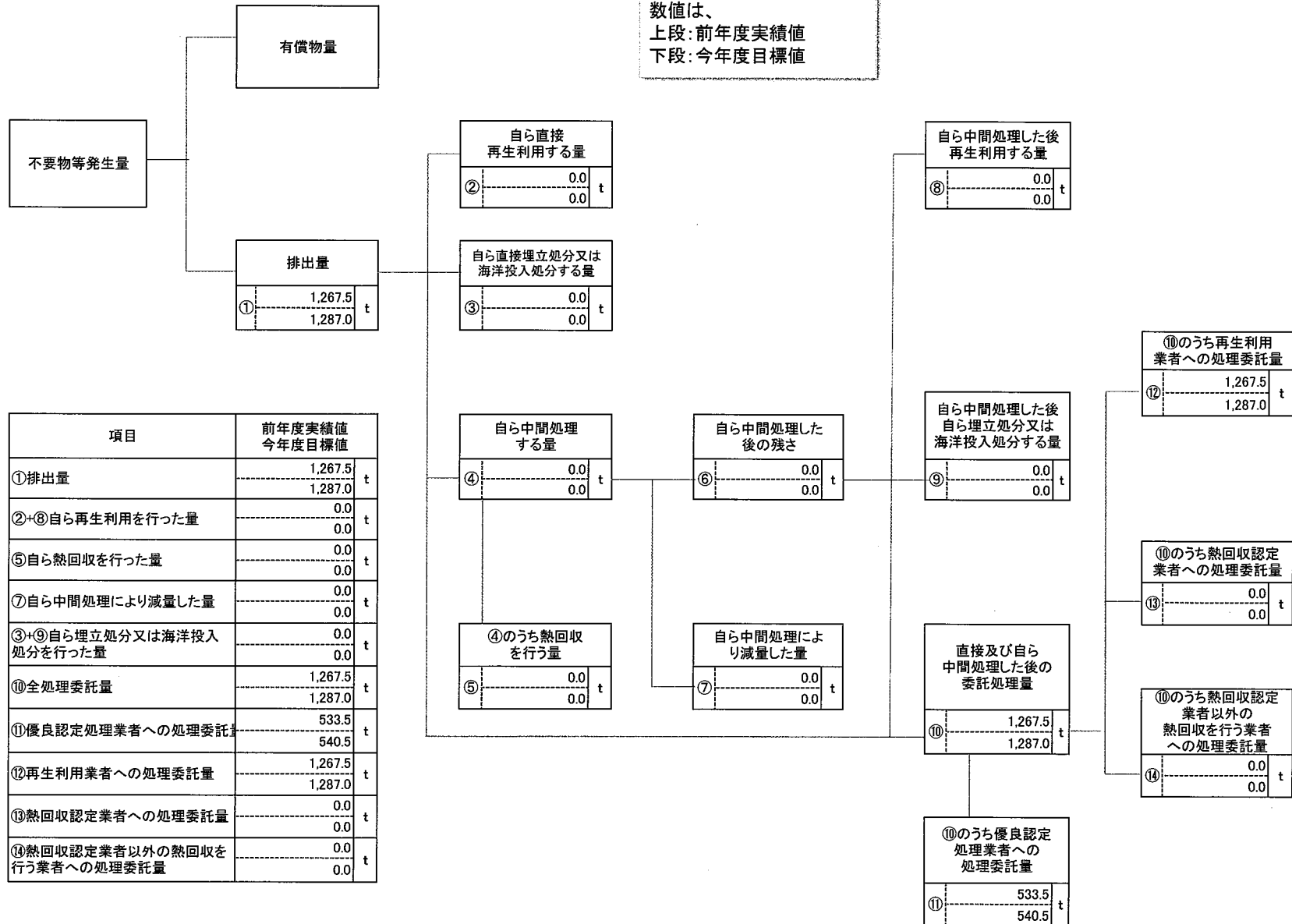
(産業廃棄物の種類: 可燃物)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



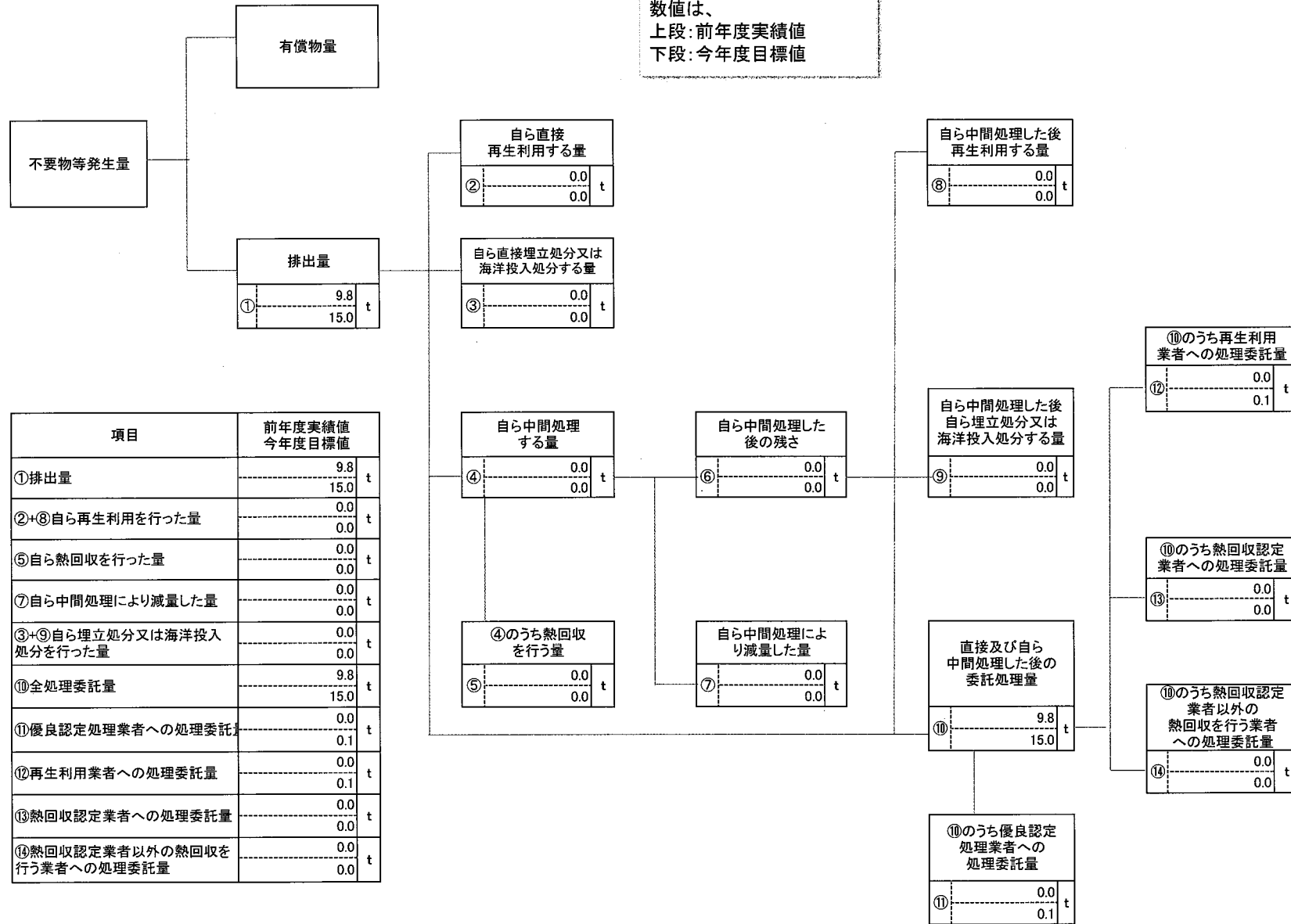
(産業廃棄物の種類: 燃え殻)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



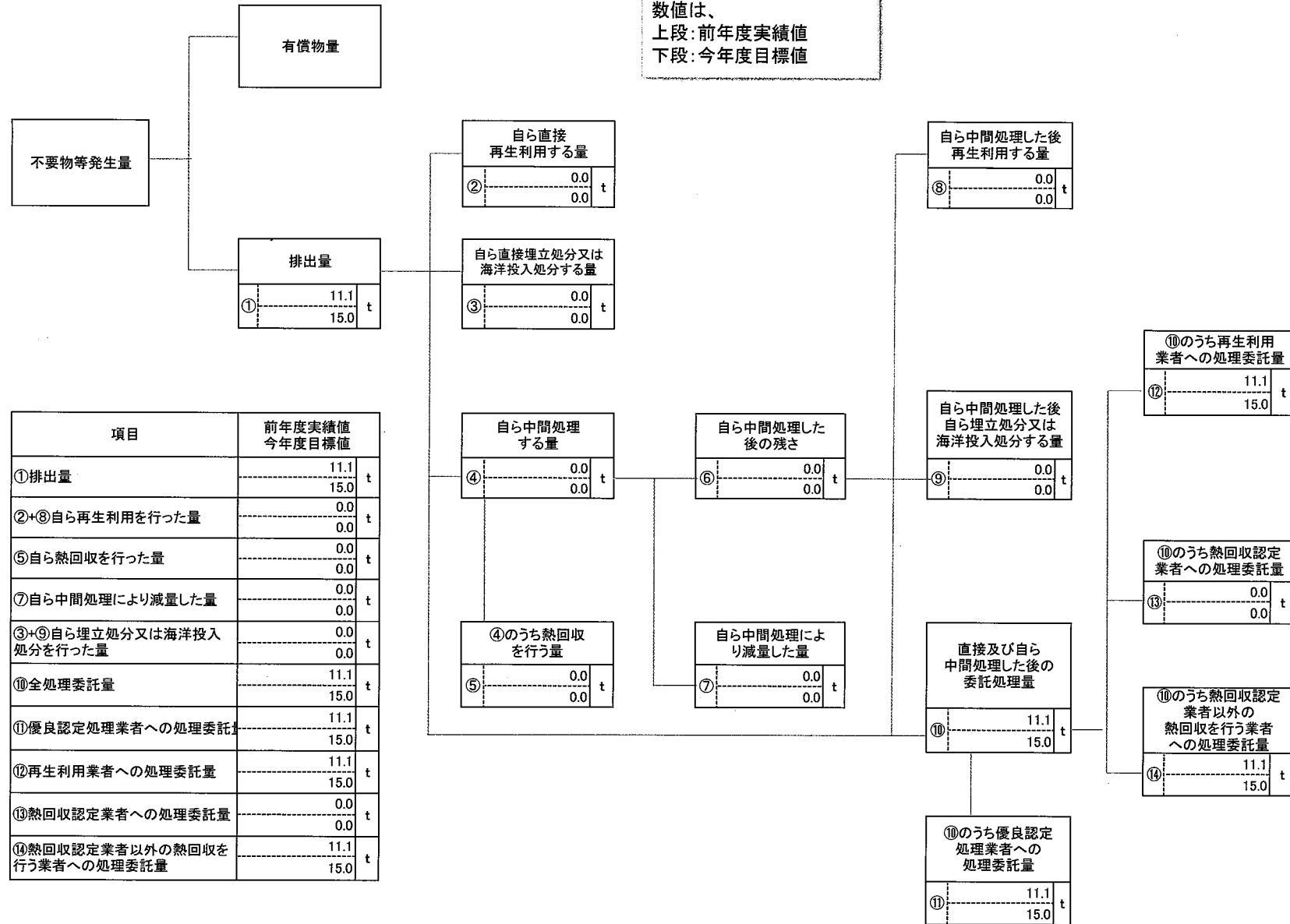
(産業廃棄物の種類: がれき類)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



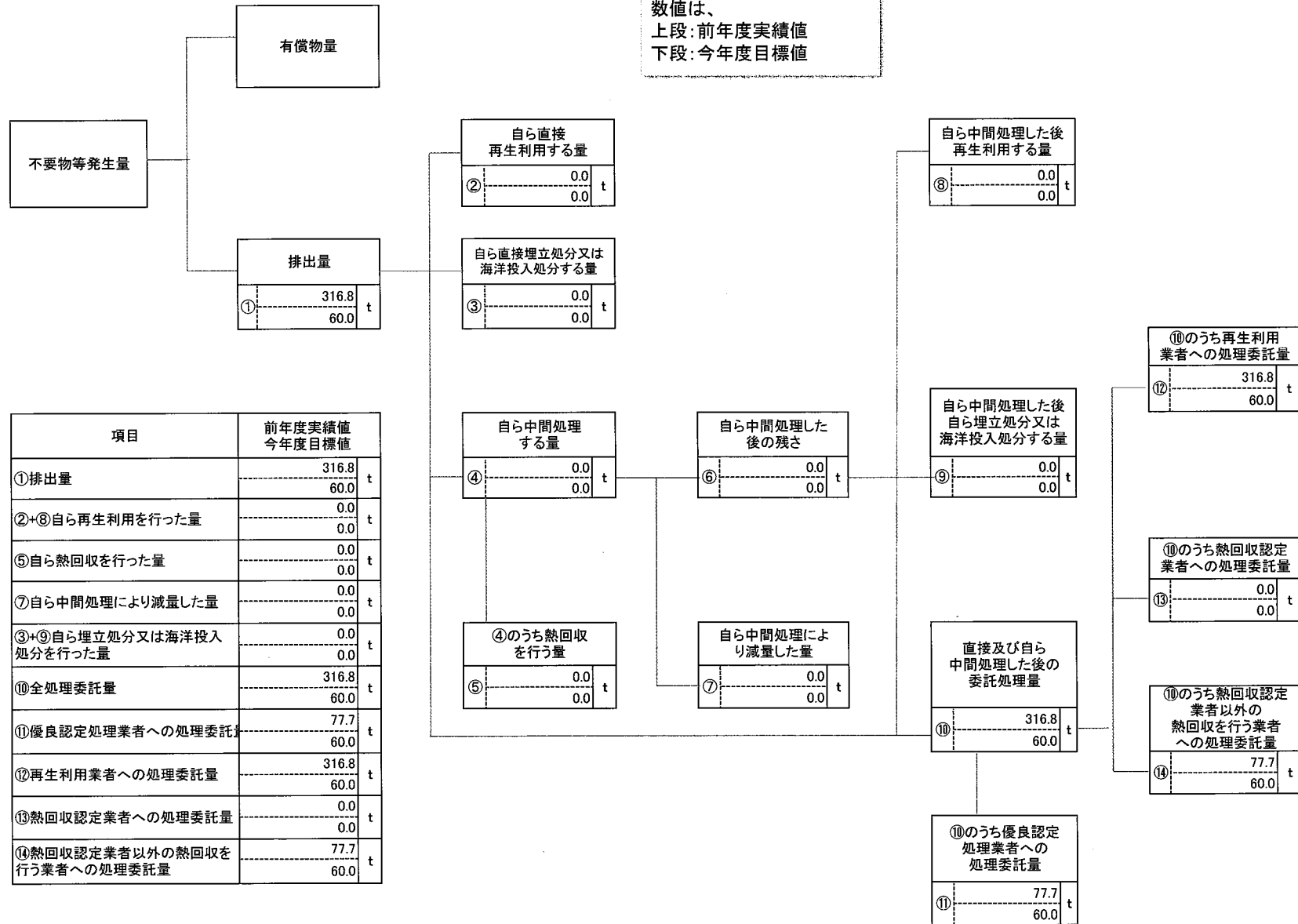
(産業廃棄物の種類: 廃油)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



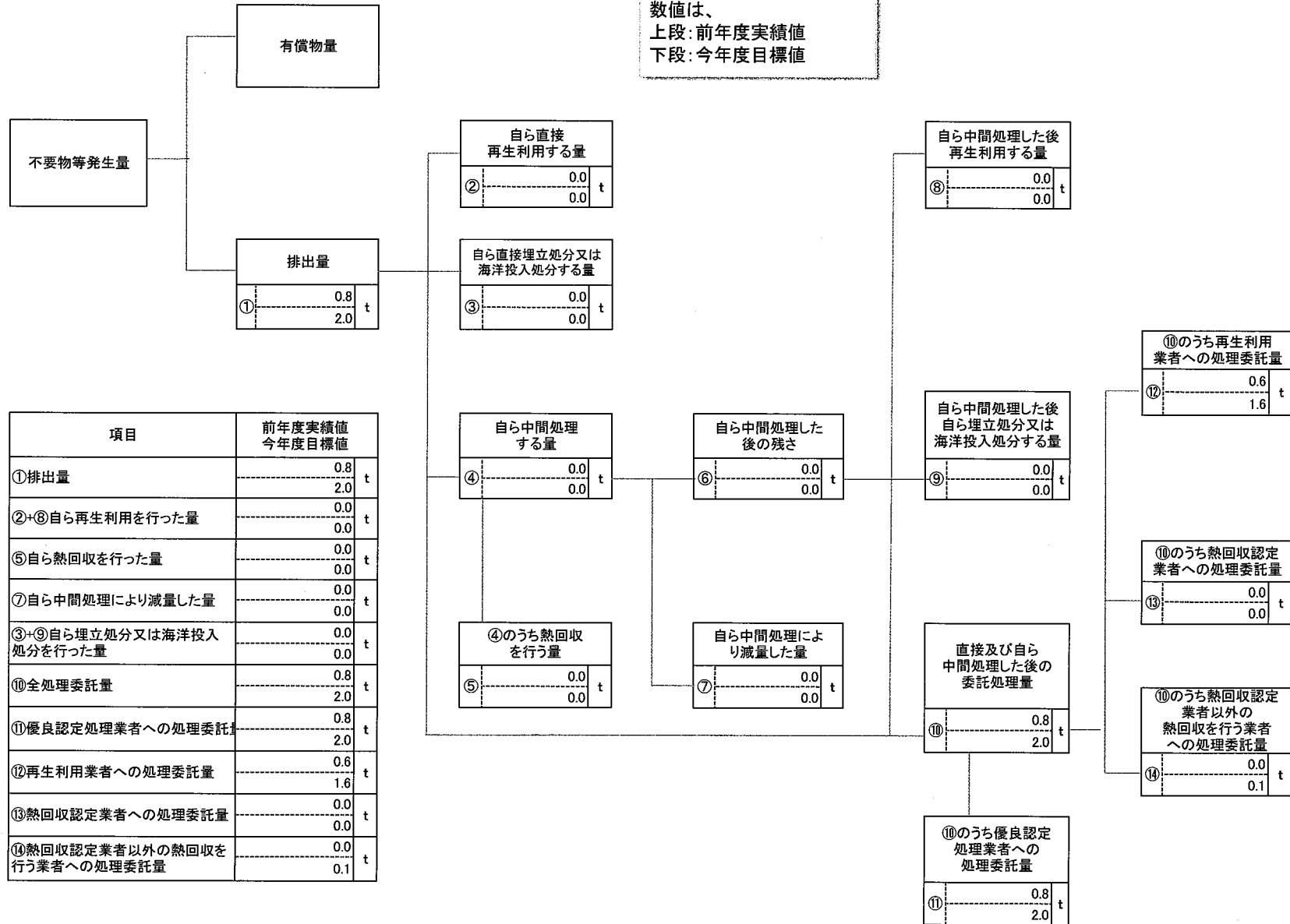
(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃酸)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値

